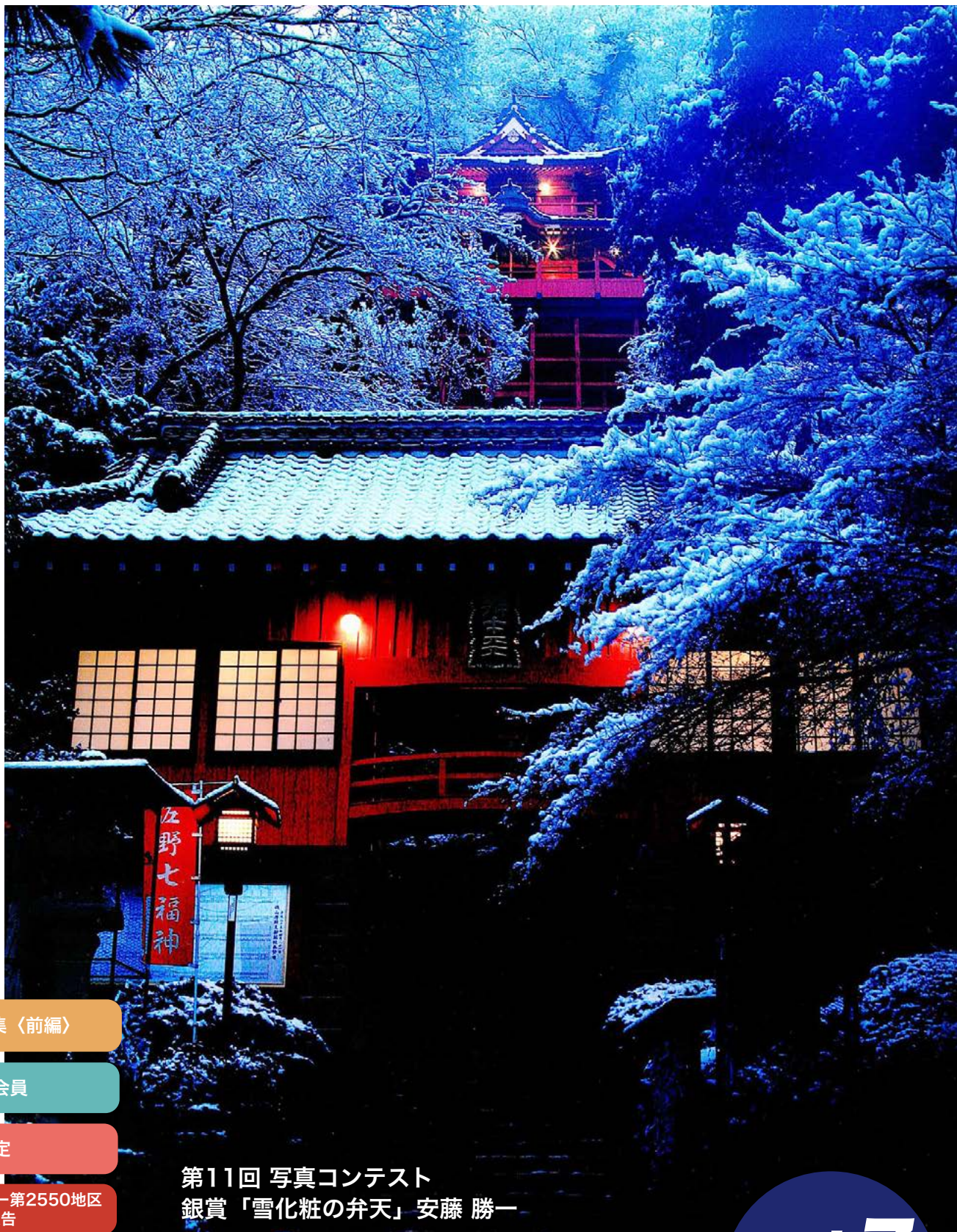


国際ロータリー第2550地区【栃木】
2023-2024年度

ガバナー月信



01



世界に希望を生み出そう

02

Governor's
message

ガバナーメッセージ

03

職業奉仕月間に
因んで

04

ガバナー公式訪問

宇都宮さつきRC
宇都宮南RC
宇都宮東RC
宇都宮陽南RC
鹿沼中央RC

05

実施行事報告

06

田沼RC
60周年を迎えて

07 地区大会特集〈前編〉

08 新入・物故会員

09 主要行事予定

10 国際ロータリー第2550地区
10月会員数報告

第11回 写真コンテスト
銀賞「雪化粧の弁天」安藤 勝一

vol.7
2024.1

R.I.D 2550 tochigi

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Contents 

アイコンをクリックでそのページにとびます。

My ROTARY Rotary International 



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE
in the WORLD

4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深める
- 4 みんなのためになるかどうか



職業奉仕月間に寄せて――

R1第2550地区 2023-2024年度 ガバナー **三井福次郎** (佐野RC)



皆様へ

不幸がございましたので新年のあいさつを、はばかる立場でございますことをご理解ください。

今月は職業奉仕月間でございます。

「ロータリーの友 1970年1月号」に、松下電器会長で大阪ロータリークラブ会員でございました松下幸之助さんの、「職業奉仕について思うこと」という寄稿文が掲載されておりましたので、許可を得て掲載させていただきます。

職業奉仕ということ

企業というものは、天下の金、天下の人、天下の土地を擁して事業をいとなんでいるのである。だから、その企業が事業活動を通じて、なにかしら社会にプラスするものを生みださなければ、その企業の存在の意義はないと言っていい



松下電器産業会長 **松下幸之助**

床屋に教えられた“業即信仰”

2～3年前のことになるが、用事で東京に出かけた折に、多少時間があつたので、銀座のある床屋で散髪をしてもらった。行きつけ、というほどではないが、以前から何度も行っているの、すっかり顔なじみになっている。私とほぼ同年輩であるその店の主人が自分でハサミをとってくれた。そして、手ぎわよく散髪をすすめながら、こんな話をきかせてくれたのである。

「実は、先般あることがあって、理容組合の人に風呂敷を配ったのですが、それに『業即信仰』と染めたのです。つまり、自分の仕事なり職業に信仰を持たなくてはいけない。そうならないかぎり、絶対に幸せはこない。そういう意味をこめているわけです。

私自身が、そういうことを考えて一生けんめいやっています。もう70にもなりますが、こうして仕

事場に出て、みなさんの頭を刈らせていただけるということは、ほんとうにありがたいことで、もう、心の中で手を合わせて拝んでいるのです。そうすると、またお客さんも喜んでくれます。こう言っただけなんです、松下さんでも、東京へ来た時にはうちの店に寄ってくださる。ほんとうに自分の商売に信仰を持つほどありがたいことはございません。

そういうことで、業即信仰ということばを風呂敷に書いて配ったのです」

大略そのような話であつたと思うが、私はそれを聞いて非常な感銘をうけた。その主人はもともとある種の達人というか、識見の高い人で、これまでもいろいろな教えられることが多かったのだが、この時もその感を深くしたのであつた。

なるほど、言われてみればその通りである。信仰三昧というほどに仕事に打込む。来るお客さんは、



みな神さまであり仏さまである。だからしぜんに、手を合わせて拝むというほどの心境になってお客を大事にする。そこに非常に大きな喜びが感じられるであろうし、また、そのようにされてハラをたてるお客もいないから、結果として商売も繁盛するということにもなるであろう。まことに道は近きにあるという感じを持ったのである。

社会にやらせてもらっている

考えてみれば、お互いの仕事なり職業というのは、それぞれに自分の意志でえらび、自分の力でやっているようではあるが、本来は社会がそれを必要としているからこそ成り立つものである。つまり、自分がやっているのではなく、社会にやらせてもらっているのだということが言えると思う。

人びとが街で手軽に靴を磨きたい、と思うところから、靴磨きという商売が成り立つ。先ほどの床屋の仕事でも、髪をキチンとしてみだしなみを整えたいという、人びとの要望があって、はじめてそれが必要とされるのであって、それなしには床屋という職業は生まれてこないであろう。このことは、どんな仕事についても同じであって、世の中の求めのないところ、いかなる職業も成り立ち得ないのである。

そういうことを考えてみると、そこに一つの大きな安心感と感謝の気持とが起こってくるのではないだろうか。この仕事は自分の小さな意志だけでやっているのではない。世間が必要としているのだ。だから、世の中の求めるままに、それに素直に誠実にこたえていけばいいのだ。仕事が伸びるか、伸びないかは世間がきめてくれる。自分は、ただ世間の求めるところに対して、かえりみて過ちなきを期していけばいいのだ。それ以外のことには心をわずらわす必要はない。そういった一つの安心の境地が得られると思う。そして、それとともに、そういう仕事を世間からやらせてもらえるのは、ほんとうにありがたいことだという感謝の念も生じてくるであろう。“業即信仰、”という心境も、そういうことと一脈相通じるものがあるような気がする。

本稿のテーマであり、ロータリークラブの大きな目標の一つである“職業奉仕、”ということも、こういった、いわば基本的な職業観とでもいうものにたって考えられなくてはならないと思う。つまり、ただなんとなく、自分の職業を通じて社会に奉仕するというようなことでは、もう一つかよわい。そうでなく、自分の職業は社会にやらせてもらっているのだ。いいかえれば、社会に奉仕貢献することによってのみ存在し得る

のであり、そうでなければこの仕事は全く存在価値がないのだ、という認識をしっかりと持たなくてはならないということである。

そういう自分の仕事の意義の自覚に立って、その大切な仕事に謙虚に誠実に、そして熱心に取り組み、世の中の求めに精いっぱいこたえていくことが、職業奉仕として第一に考えられなくてはならないと思う。

儲けることはいけないことか

職業奉仕ということと関連して、よく“企業の社会性、”とか“企業の社会的責任、”ということが言われる。これは一言で言えば企業は社会に対して奉仕、貢献していかななくてはならない、そういう責任があるということであろう。たとえば、よりよい製品なり、サービスなりを適正な価格でゆたかに提供していくという企業本来の使命もその一つであろうし、そのほかいろいろなかたちにおいて、社会にプラスしていくことが要求されているというわけである。

私も、まったくその通りだと思う。企業というものはいわば天下の金、天下の人、天下の土地を擁して事業をいとなんでいるのである。その企業が事業活動を通じて、なにかしら社会にプラスするものを生み出さないなどということは許されない。それでは企業の存在の意義はないと言っていいであろう。その意味で、企業の社会的責任というものは、きびしく問われなければならないと思う。

ただその場合、一つ気になることは、企業の社会性ということの解釈である。具体的に言えば、利潤というものと関係である。つまり、社会性が大事だからということで利潤を軽視する。あるいはこれを社会性に相反するものとする。そのような風潮が社会の一部に見られるように思う。利潤を追求すれば、企業の社会性が失なわれる。なるべく薄利で売って儲けないことが社会性に合致するのだというわけである。そういう論調が、新聞や雑誌、あるいは一部の有識者の発言にも往々にしてみられるのである。

企業本来の使命を達するために

たしかに、暴利をむさぼる、などということばもあるように、無制限に過大な利潤を追求するなどということは好ましくないにちがいない。また、事実そういう姿もまま見られるだけに、利潤は社会性に反するといった見解もでてくるのであろう。しかし、利潤とは、本来そんなものなのだろうか。私は決してそうではないように思うのである。



もし、かりにすべての企業が一切儲けないようにしたらどうなるか。一番困るのは誰だろうか。企業自体だろうと言われるかもしれないが、必ずしもそうではないのである。赤字だというならともかく、収支トントンであれば、なんとかやっていけないことはない。

とって誰も困らないというわけではない。今日、企業の利益の半分は税金として国や地方団体に納められる。国の法人税収入は、予算総額の4分の1にもなる。もし各企業が軒なみに儲けるのをやめたら、国庫は大減収となってしまう。つまり、一番困るのは政府である。ということは、困るのはお互い国民であるということにも通じる。社会保障もできない、教育の充実も、道路などの整備もできない。国民の福祉は大きく損なわれるというわけである。

それだけではない。せっかく企業に投資してくれた株主にも、配当をもって酬いることができなくなる。また、次つぎと新しいものを生み出し、良品を適正な価格で提供していくための施設の改善や研究開発に対する投資もできない。そのことは長い目でみれば、消費者大衆にも大きなマイナスをもたらすものであり、企業本来の社会的使命、責任に相反することはなほだしと言わなくてはならない。

そういうように考えてみると、企業にとって利益をあげるとはまことに大切だということがわかる。それは、社会性に反するどころか、まさに合致することであり、社会的責任を全うしていくために不可欠なものだと言える。もちろん、ここでいう利益とは、いわゆる暴利ではなく、社会の良識からみて妥当と考えられる「適正利潤」をさすものであることは言うまでもないが、いずれにしても、いくら社会的責任を唱え、社会に奉仕貢献するといってみても適正利潤がなかったら、それも空念仏に終わってしまうのではないだろうか。

見方を変えるならば、こういうことも言える。つまり企業は、良品を適正価格で提供するために、創意工夫をこらして研究開発につとめ、一方では紙1枚、電話1本も節約するなど、骨身を削るような思いで苦心努力しているのである。そういう努力の成果が、幸い社会を益し、世の人びとの受け入れるところとなった。そこで、その報酬として社会から与えられるのが適正利潤というものなのだというのである。

そういう観点からすれば、利潤というものは一面において企業が社会にいかに関与したか、つまりはどの程度職業奉仕をしたかを示すバロメーターだといえるのではないだろうか。

私は、職業奉仕ということを考えるについて、先にのべたような職業観とともに、こうした利益についての正しい見方を、お互いにしっかりと認識する必要があるはしないかと思うのである。

欧州へ旅行して感じたこと

話は変わるが、昨年、9年ぶりに欧州へ旅行した。ごく短期間の限られた見聞にすぎないのだが、何よりも感じられたのは、この9年間に、欧州の国々にはそう大きくは変わっていないということであった。その間の日本の変化というか進歩発展の急であったことは、いまさらいうまでもないと思うが、それに比べて、欧州は非常にテンポがゆるやかだ、という感じをうけたのである。国民総生産において、日本が欧州諸国を抜いて自由主義国中第2位になったのもなるほど当然だという気がした。おそらく、今後その差というものはますます大きくなっていくにちがいない。

もちろん、日本ではそういう急速な成長の一方には、いろいろヒズミやアンバランスも生じており、だから一概にそれが好ましいことであるとばかりはいえないかもしれない。しかし、ともかくも、そういうすぐれた力を日本人が持っていることは、これは事実である。

一つの例をあげると、今日、日本の造船量は全世界の生産の50%を占めるという。まことに驚くべきことである。これは、造船業界の人びとの並々ならぬ努力の賜物であろう。と同時に、その造船業の発展を可能にした大きな要因は、その主材料である鉄鋼の生産高がこれまた世界第2位にまでなっており、しかも、それがどこよりも良質で安いということにもあると思う。考えてみれば、鉄鋼の生産に必要な鉄鉱石にしろ、原料炭にしろ、日本の国内では産出していない、いずれも輸入である。その不利な条件でいながら、どこよりも安く良質な製品を、大量に供給できるということは、これまたすばらしいことだと言わなくてはならない。

こうした造船、鉄鋼にかぎらず、わが国の経済界は、多くの分野で、すでに欧州に追いつき、あるいは追い越し、あるものはアメリカをも抜いて世界の1位になっているのである。しかも、そういう傾向はますますつよまろうとしている。これが、あの太平洋戦争による完膚なきまでの荒廃の中から立ちあがって、わずか24年の間になしとげた成果であることを考えると、私は日本という国は偉大な国であり、日本人は立派な国民だと思わずにはいられないのである。

今後、先にのべたような急成長のヒズミについては、是正すべきものを是正して、社会各面の十分なバランスをはかることは大切であろうが、そういう配慮をしつつ、この発展の歩みを続けていけば、必ずやそう遠からぬ将来において、日本は世界の一流国、いや超一流国の一つになっていくにちがいない。日本人はそれだけの力を持っていると思うのである。





松下幸之助君

松下電器産業会長
PHP研究所会長
大阪RC会員

世界に対する真の職業奉仕を

そのように発展をとげていく日本に対しては、しぜん世界の国々に、世界の人びとからある種の期待が寄せられるようになるであろう。よい意味での力というものを非常に持つようになってきた。だから、その力をもって世界の共同の繁栄に貢献する、そういう立場に、自ら望むと望まざるとにかかわらず、これからの日本は立たされていくと思う。

そうなれば、お互いの仕事なり事業というものも、これまでのように日本国内のことだけを考えるのではなく、世界的な視野に立って、そのあり方を求めていくことが必要になってくるであろう。言ってみればこれからの職業奉仕というものは、世界人類全体に対するものでなくてはならないということにもなる。

事実、最近の日本の輸出なり、海外進出というものはまことにめざましい。そのことは一面それだけ世界の人びとにプラスしているわけで、好ましいことであ

る。しかし、ここで考えなくてはならないことは、そうした海外進出があまりに急速であり、あまりに意欲たくましいがために、そのことが相手の国なり、業界なりに、不安と脅威を感じさせることになってはいないかということである。その結果、そこからある種の反発も生じてくる。そういうことがあっては、その国のためにも、また日本自身のためにもかえってマイナスだといわなくてはならないだろう。

やはり、海外進出というものは、あくまでその国の繁栄、その国民の幸福ということを第一義に考えるべきであって、日本の利益、自分の企業の発展が優先するようなことでは、真に歓迎され、喜ばれるものとはなり得ないであろう。つまりは、どんな仕事でも世間が必要とするから成り立つ、という先にのべた原則は、世界という場においても忘れてはならない真理だというわけである。

今日これだけの力をつけてきた日本が、その力をみだりにふるうのでなく、謙虚に世界の人びとの求めるところをさぐり、好ましい姿でこれにこたえていく、それが、日本と世界の一層の発展を生み出していく道ではないだろうか。

日本と世界の人びとに貢献するような真の職業奉仕のあり方を求め、これに徹していくということ、それがこの新しい年のはじめにあたって、お互いが考えなくてはならない大切な問題だと思うのである。



職業奉仕月間に因んで

国際ロータリー第2550地区 職業奉仕委員長 **田中 正夫** (宇都宮南RC)



ロータリークラブをもっとも単純な一言で言うとは何ですか？と問いかけた場合、「奉仕団体」という答が、一般の人たちだけではなく、ロータリアンからも返ってくると思います。そこで「奉仕」の意味をどう考えるかです。

私は、奉仕とは「できるだけ人や社会の役に立とうと努力すること」という意味で使えば良いと考えています。そのことへの対価を求めるのは職業人として当然です。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。」というシェルドンの言葉の意味が、最近になってより深く理解できたような気がしていますが、シェルドンは「職業は社会に奉仕する手段である。」という言葉も残しているようです。同感です。これこそが職業奉仕を端的に表していると思います。私は「職業とは人の役に立って生活の糧を得ること」と定義したいと思います。まさしく生業です。

職業奉仕活動は団体ではできません。会員ひとりひとりが自分の職業活動を充実させていくことが職業奉仕です。そのために例会に出席し、卓話を聞き、時には自分が卓話者になり、出席者と会話を交わす。社会奉仕活動や親睦活動などにも参加する。これらは全て会員自身のためです。そう考えると、ロータリー生活がより楽しめると思います。



04 ガバナー公式訪問



2023.09.04

Governor's
official visit

宇都宮さつきロータリークラブ

会長 亀井光一郎
幹事 諸鹿 大介



9月4日(月曜日)の例会では、三井福次郎ガバナー、上野裕之ガバナー補佐、菊澤洋之地区副幹事、篠崎博司様(佐野RC)をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

18時30分から例会に入り、亀井会長から歓迎のあいさつとクラブの現況等についてお話しをしました。その後は、三井ガバナーより卓話をいただき、ポリオ根絶募金キャンペーンの取り組み、規定審議会への議案提出について分かりやすく説明していただきました。

最後に会員個人情報の取り扱い等についても丁寧にお話をいただきました。

会員からの質問にも分かりやすいご回答で会員維持について、たいへん有意義なご指導をいただきました。会員増強についても新会員の入会後のケアの必要性を重視した助言をいただきました。

例会のなかで三井ガバナーよりいただきましたご意見・アドバイスをこれからのクラブ運営に生かし、楽しみながらロータリー活動に励みたいと思います。この度はご多忙の中ご訪問いただきまして、心より感謝申し上げます。





2023.09.13



宇都宮南ロータリークラブ

会長 若林 博純
幹事 嶋田 辰雄



9月13日 宇都宮市ホテルニューイタヤにおいて三井福次郎ガバナーと、第3グループB 上野裕之ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催しました。

11時より会長、幹事及び次年度会長、幹事との会議の予定でしたが、三井ガバナーも上野ガバナー補佐も10時少し過ぎにホテルに到着しまして、ホテル1階ラウンジにてコーヒーを飲みながら話をしました。「会議で話す内容をほとんど話しましたね。」というほどでした。11時になり次年度会長、幹事を含め予定の会議室に移動しまして会議をしました。

本日の例会は、宇都宮南ロータリークラブ 第2000回の例会になります。

このメモリアルな日に三井ガバナーの公式訪問になるのも奇跡のようですが、1982年5月9日、宇都宮南ロータリークラブの発足したときのチャーターナイトに三井ガバナーは、当時の佐野ロータリークラブ所属、大橋章一ガバナーと同行して参加したそうです。「宇都宮南ロータリークラブに来るのは、本日で2回目になります。チャーターメンバーの笠原会員に会えるのを楽しみにしていました。」とのことでしたが、あいにく笠原会員は、怪我のため入院中でした。しかしながら三井ガバナーの親しみのある、気さくな口調で、楽しく聞き入りました。

例会終了後記念撮影、その後オープンディスカッションをしました。まず初めに当クラブの現況報告書の「クラブ定款及び細則」の中の訂正箇所が訂正されていなかったことについて注意を受けました。その後の質問の時間では、地区補助金及びグローバル補助金についての質問に詳しく教えていただきました。

ほんとに楽しく、また詳しくいろいろとご指導を賜りありがとうございました。





Governor's
official visit

宇都宮東ロータリークラブ

会長 石川 元信
幹事 谷田部 修



10月3日（火）ホテルニューイタヤにおいて、三井福次郎ガバナー、第3グループB上野裕之ガバナー補佐、随行2名をお迎えしてガバナー公式訪問を受けました。

午前11時より会長幹事懇談会が開催され、当クラブから、本年度会長・幹事に加え、次年度会長・幹事が出席し、クラブの現状や問題点についての意見交換から、年に一度の規定審議会の説明とそれに伴ってのクラブ定款変更・細則の見直しについて、丁寧にご説明・ご指導を頂きました。

また、石川会長より当クラブの年度スローガン「希望と安心をあたえ、喜びを分かち合おう」=アフターコロナにおける希望と安定

した雇用によって生活に安心を与え、日々の生活に共に生きる喜びを分かち合える地域社会を目指す活動計画について説明し、クラブの強みと弱み、地域への取り組み方などのお話などを交え、あっという間に会長幹事懇談会は終了しました。

例会では三井ガバナーより卓話を頂き、ロータリーの権利、会長テーマ発表の様子や国際協議会の報告、フロリダ州オーランドでのRI、ビデオを用いてご講和をいただきました。次の規定審議会に各クラブから制定案を出すことができることなどの他、世界ポリオデーにちなんだイベントについてのご説明も頂きました。

クラブ協議会では3名の会員からの質問にお答え頂き、特に地区の会計の仕組みなど、ガバナーから貴重なお話をいただきました



た。

三井ガバナーから学んだ事を今後のクラブ運営に役立て、さらに地区内最大会員数を誇るクラブとして一層発展させていきたいと思っております。

公式訪問、誠にありがとうございました。会員一同心より御礼申し上げます。





2023.10.06

Governor's
official visit

宇都宮陽南ロータリークラブ

会長 神山 良平

幹事 阿部 晋

10月26日木曜日に三井福次郎ガバナー、第3グループBの上野裕之ガバナー補佐、ならびにお二人の随員をお迎えしてガバナー公式訪問を開催いたしました。

我々の例会は夜間例会なのですが当日三井ガバナーは昼間も他の例会に訪問していて、1日で2クラブ訪問するというとても多忙な日でした。

公式訪問が始まると流石ガバナーというリーダーシップで我々会員に規定審議会、現況報告書の個人情報の取り扱い、ポリオ撲滅キャンペーンなどの話を熱心に話してくれました。

またオープンディスカッション時も会員の質問にしっかり答えてくれて、三井ガバナーのリーダーシップスキル、知識、そしてロータリーに対しての真剣さがとても伝わりました。

いつも遠い所から拝見する機会ばかりだったのですが実際に顔を合わせて話をしてみると、とても気さくな方で、地元を愛していて人柄の良さを感じ取れる公式訪問だったと思います。

改めてロータリアンとしての理念や価値観を再確認させて頂きました。

今回の公式訪問は我々宇都宮陽南ロータリーにとって大きな刺激となり、今後の活動に活かしたいと思います。

会員一同感謝申し上げます。

この度はお忙しい中、大変ありがとうございました。





2023.10.17

Governor's
official visit

鹿沼中央ロータリークラブ

会長 石川 健一

幹事 八木 修一

我がクラブは15名の小さなクラブです。

私、会長が2回、幹事を3回やらせていただいており、今回の公式訪問、私にとって5回目になり、幹事も八木さんですので大船に乗ったつもりで三井ガバナーをお迎えしました。

会長、幹事との懇談では、我がクラブの問題点を指摘していただき、適切なアドバイスをしていただきました。

また、全体会議では、ガバナーとしての見識の下、会員の皆様にポリオについて熱心に訴え、協力を求めていますのが印象に残っております。

公式訪問が終わった後、八木幹事ともども疲れがどっと出てしまいました。

この年になって、これほど真剣にロータリーに向かい合ったことは有りませんでした。

三井ガバナーのバイタリティーには敬服次第です。

これからのロータリー活動に対し、お体をご自愛くださいますようご祈念申し上げます。

以上、ご報告いたします。





2024学年度,新規米山奨学生 面接委員オリエンテーション & 米山ナイト及び面接選考試験を開催して

ロータリー米山記念奨学会 委員長 **田島 良久** (馬頭小川RC)



去る2023年11月25日(土)ベルヴィー宇都宮にて、午後4時より「面接委員オリエンテーション」を開催する事が出来ました。

12月10日(日)実施しました新規米山奨学生 面接選考試験に先立ちの開催です。

内閣府より公益財団認可以来、全国34地区にて選考基準の一元的管理の必要性から、面接委員全員に要請されるものとして、このオリエンテーションの実施の運びとなっております。

今回選考委員として三井福次郎ガバナーより委嘱された、市田登ガバナーエレクト、二十二修ガバナーノミニ、地区委員の合計10名に対して、米山奨学会からの面接委員の手

引きに関する説明と、当地区の選考方針とその選考方法について、詳しく小原沢公康選考委員長(足利わたらせRC)より説明をさせていただきました。

2024年度は、39名の募集枠に対して23名(当日1名辞退)のエントリーがあり、その中から13名の新規の奨学生が合格誕生します。

今期より新たに評議員に就任されました太城敏之PG(宇都宮東RC)様にも、選考試験を今一度体験して頂きたいと、出席して頂いたのですが、規約にて評議員は参加してはならないと地区委員より指摘され太城敏之PG様に

は不愉快な思いをさせてしまい申し訳なく反省する次第です。

米山ナイトを開催して

同日夕方6時より同会場にて、3年前より開催しております学友会による「米山ナイト」を開催しました。恩田光憲歴代委員長（宇都宮西RC）の乾杯の御発声により開会しました。進行する中で、奨学生・学友の皆が近況報告と題して、3分間スピーチをして、各人がマイクを握り思いの丈を発散していました。

奨学生の一人が、私に毎朝アパートから学校へ行き、授業が終わればアルバイトをし、クタクタに疲れてアパートへ帰

る毎日です。しかし、米山奨学生に成ってからは、経済的に少し余裕が出来て時間も取れる事が出来るようになり、授業にも就いて行けるようになり成りましたと。1人寒いアパートに帰ると涙が出るんですよ・・・とか。

でも今日は、日本に来て初めての飲食会に参加できて、そして仲間にも会えて嬉しいとも・・・。

心細さを払拭出来たと話していたのが印象的でした。

全国のロータリアンが、学生に対して夢を託していることを理解して貰い、精神的に強くなって欲しいと願うばかりです。



面接選考審査試験を開催して

12月10日(日)、宇都宮ホテルニューイタヤにて、朝8時に地区委員及び関係者が集まり、面接審査に関する注意事項等を再確認し合い、9時より3班に分かれ面接を開始しました。

当日1名の辞退者がある中で1人約10分程度の面接をし、各人とも熱く個性を出して面接委員も圧倒される場面もありました。面接審査の中で、米山記念奨学会より、①日本留学の目的と明確な研究課題、将来の目標、②交流と国際親善への熱意、ロータリーへの関心度、③人間性・人柄、④コミュニケーション能力＝日本語運用能力の4項目を注視するようにと要請があり、審査委員夫々が質問をしました。

午後4時頃に面接終了し、集計直後に合否の判定をし合格者13名、補欠者4名の新規の学生を選考しました。新年度には、中国・ウズベキスタン・シリア・バングラデシュ・韓国・ネパール・台湾と各国よりの学生が奨学生として誕生しましたので、是非とも世話クラブとして応募して頂ければ幸いです。

これからも、米山記念奨学会への御理解と御協力を重ねてお願い致します。





「12/16 RLIセミナー パートIII」実施報告について

RLI委員会 ファシリテーター委員長 **福富 正浩** (栃木RC)



2023年12月16日にコンセーレ宇都宮にて、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)パートIII研修会が行われ、今回2550地区のメンバー34名に参加していただきました。RLIは基本的にパートIからパートIIIまであり、昨年度パートIを行いまして、今年度に入り9月10日にパートIIを行い、今回は、パートIIIの開催となっております。この各パートは6つのテーマを行いますので、今回パートIIIを受講された方は、1つのテーマで1時間ディスカッションしていただくため、6時間授業を受けていただきました。皆様、6時間授業を受けるのは大変なところもあるかもしれませんが、講義型の研修ではなくディスカッションを行うため、今まで、誰一人として寝ている方は見たことがありません。6時間デ

ィスカッションを続けるわけですから、相当な力をつけて自クラブに戻っていただけるのではないかと考えております。

内容的には、財団あり、米山あり、と様々なテーマをパートIからパートIIIまで6セッションに分けてありますので、全部受講すれば、18のテーマを勉強することになります。今回、パートIIIとして最終研修となるための最後の6時間目の研修は、全員が同じ「変化をもたらす」というテーマによりディスカッションをしていただきました。今まで、パートIからパートIIIまで学んだことで、自クラブをどのように変化させていくことができるか、また、自分自身、学びをどのように取り入れることができるか、さらには、学んだ結果、他のメンバーに、どのような変化を促すことができるか、その





集大成としての6時間目となります。

また、本日、パートⅠからパートⅢまで受講終了し、修了書を手にした方は15名いらっしゃいます。今までの累計として当地区内で終了した方は、総勢88名となりました。是非とも皆様にもRLI研修を受けていただき修了証を獲得していただきたいと思います。

RLIのディスカッションの方法としましては、講義形式ではなく、ファシリテーター(進行役)が各人に質問を投げかけ、それを答える形式で行います。6時間を受ける中で、1時間ごとに毎回メンバーが代わります。それも、他のクラブの方々がいることとなりますので、各クラブの違った運営の仕方を聞き、新しい発見をすることは、とても良い参考になる

と思いますし、一日受講すれば、たくさんのクラブの内容を聞くことになるわけですから、とても有意義な研修になっていると思います。そして、本来、RLIとは、ここで学んだ内容を自クラブに持ち帰り、各クラブを活性化して欲しい研修であるため、今回のメンバーもたくさんの有意義な情報を持ち帰れたと思っております。

是非とも、メンバーの皆様には、RLI研修に積極的に参加していただくことをお願いし、同時に我々と一緒にファシリテーター(進行役)にも興味を持っていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。





RI第2550地区第9グループ田沼ロータリークラブは1964年、昭和39年1月30日に佐野ロータリークラブのスポンサーによりまして、会員29名でスタート致しました。現在では会員45名となっており、創立当初より地域社会に貢献し、友情と奉仕の理念を大切にしてきた素晴らしいクラブだと自負しております。記念式典には三井ガバナーをはじめ、沢山の皆様にご臨席賜り厚く御礼申し上げます。

60年の節目にあたり、駒澤大学陸上競技部総監督大八木弘明氏をお迎えし記念講演会を開催した他、例会場でお世話になっております道の駅どまんなかたぬま様へポール型街頭時計を寄贈させていただきました。又、田沼アスレチッククラブ様や子ども食堂ちょこつと様へ活動支援金を贈呈させていただきました。地域の皆様と一丸となって田沼ロータリークラブの60周年を迎えることができました。

私は幹事という立場でこの60周年を迎えることとなりましたが、田沼ロータリークラブの団結力、年代を超えた結束力は素晴らしいと思います。誰もが羨む統率力を持った会員、誰もが羨む理性を持った会員、誰もが羨む元気を持った会員。その誰もが田沼ロータリーを心から愛しているのですから、70年、80年と未来をつなぐクラブであり続けると確信できる60周年であると思います。

先輩方に恥じぬ様引き継いで行きたいと思います。



07 地区大会特集 〈前編〉

記念ゴルフ大会

2023年10月27日(金) 唐沢ゴルフ倶楽部 三好コース



会長・幹事会 地区指導者育成セミナー 2023年11月11日(土) ホテルサンルート佐野 飛鳥の間

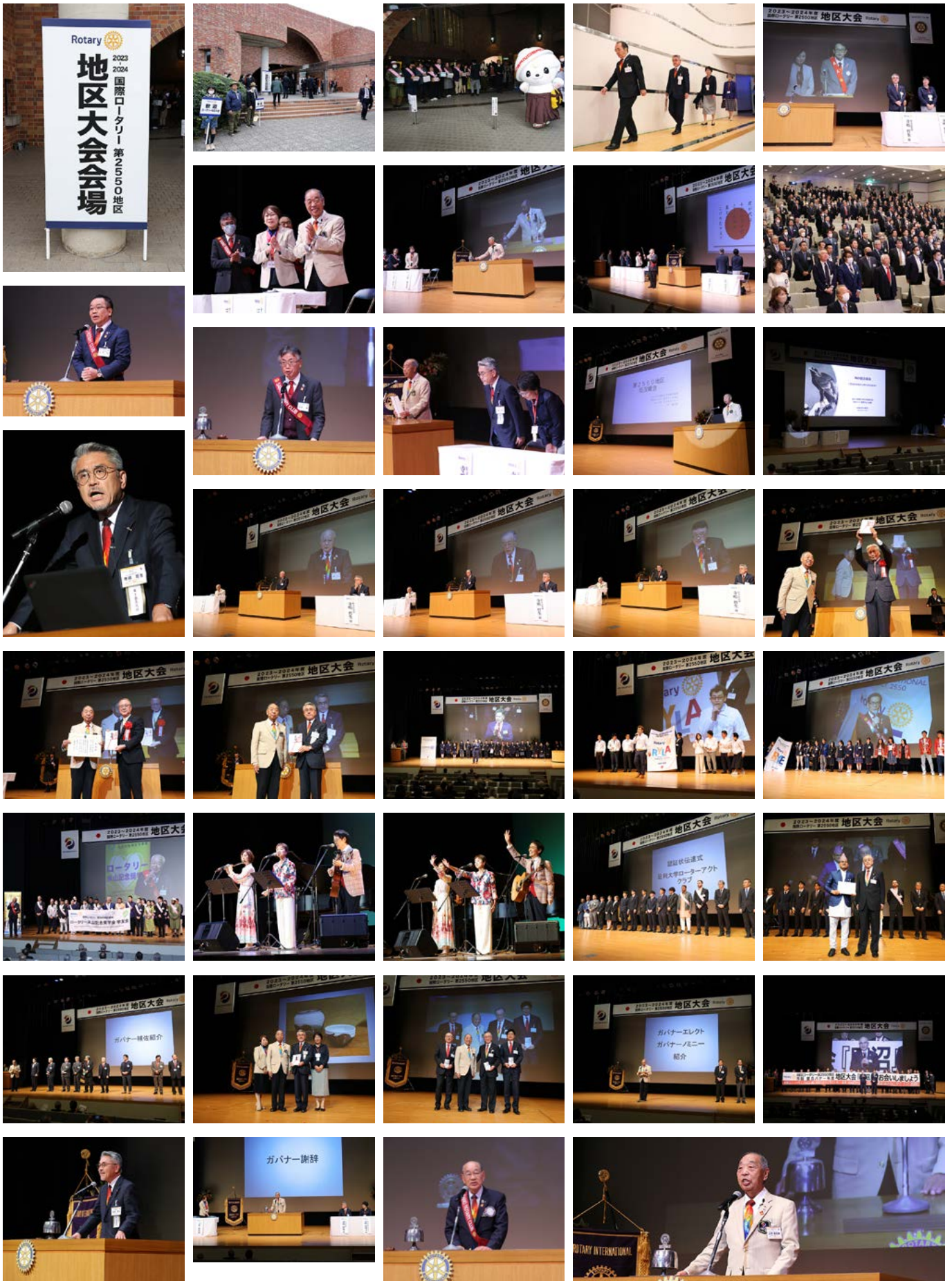


RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 2023年11月11日(土) ホテルサンルート佐野 平安の間



地区大会本会議

2023年11月12日(日) 佐野市文化会館 大ホール



ちあき なお のり
千秋直紀足利東RC
2023年10月10日入会栃木銀行 足利支店
支店長

この度、入会させて頂きました。御指導どうぞ宜しくお願い致します。

たなか ゆき ひろ
田中幸弘葛生RC
2023年11月1日入会(有)田中建設
代表取締役

微力ながら、RC活動コツコツと頑張ります。よろしくおねがいします。

と さ き や す ひ で
戸崎泰秀壬生RC
2023年11月1日入会(株)まるつね
代表取締役

よろしくお願いたします。

い ま い か ず や
今井一也鹿沼RC
2023年11月9日入会(有)今井鉄工所
代表取締役

微力ながら頑張ります！
よろしくお願いたします。



【ロータリー
特別月間】

7月	母子の健康月間	1月	職業奉仕月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間	2月	平和構築と紛争予防月間
9月	基本的教育と識字率向上月間 / ロータリーの友月間	3月	水と衛生月間
10月	地域社会の経済発展月間 / 米山月間	4月	環境月間
11月	ロータリー財団月間	5月	青少年奉仕月間
12月	疾病予防と治療月間	6月	ロータリー親睦活動月間

【地区内
主要行事】

月	日・曜日	地区内	場 所
2	4(日)	第3回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮
	4(日)	第2回運営委員会	ベルヴィ宇都宮
	4(日)	第6グループIM	ホテルサンルート栃木
	7(水)	第3グループAB IM	ベルヴィ宇都宮
	11(日)	第2グループIM	東雲ゴルフクラブ
	17(土)	第5グループIM	小山グランドホテル
	18(日)	24-25地区チーム研修セミナー	ベルヴィ宇都宮
	18(日)	24-25年度第4回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
	18(日)	青少年交換第3回オリエンテーション 日本文化体験	とちぎ青少年センター
	23(金)*天皇誕生日	24-25財団補助金管理セミナー	ベルヴィ宇都宮
	25(日)	第1グループIM 14:00~	KATSUTAYA
	25(日)	第4グループIM	アプローズ益子
	25(日)	米山記念奨学会 修了式・歓送会	ホテルニューイタヤ
28(水)	台湾(D3470)IAC歓迎合同パーティー	コンセーレ	
3	2(土)	第8グループIM	ニューミヤコホテル 足利本館
	9(土)	第9グループIM	サンルート佐野
	10(日)	第7グループIM	日光きぬがわ スパ・ホテル三日月
	17(日)	24-25 PETS・SETS	コンセーレ
	26(火)~29(金)	23-24年度地区インターアクトクラブ海外研修(台湾)	台湾(台北・台南)
4	14(日)	24-25地区研修・協議会	ライトキューブ宇都宮
	14(日)	青少年交換第4回オリエンテーション	
	20(土)	真岡西ロータリークラブ創立40周年記念式典	フォーシーズン静風
	21(日)	米山奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	
	21(日)	第26回親善野球大会(10/15振替)	
5	12(日)	栃木西ロータリークラブ60周年記念式典	ホテルサンルート栃木
	19or26	氏家ロータリークラブ60周年記念式典	ホテル清水社
	19(日)	栃木ロータリークラブ70周年記念式典	栃木グランドホテル
6	1(土)	宇都宮さつきロータリークラブ10周年記念式典	ベルヴィ宇都宮
	9(日)	青少年交換第5回オリエンテーション	
	9(日)	24-25年度第5回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
	16(日)	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ



10

国際ロータリー第2550地区11月会員数報告

分区	クラブ名	例回数	会 員 数								40歳未満	
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員		
第1グループ	大 田 原	3	19	19	0	0	0	0	0	0	1	0
	黒 磯	3	35	35	0	0	0	0	0	0	3	0
	西 那 須 野	3	46	47	0	0	1	0	1	1	2	0
	黒 羽	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	2	22	22	0	0	0	0	0	0	1	1
第2グループ	鳥 山	3	15	15	0	0	0	0	0	0	2	0
	氏 家	3	24	26	0	0	2	0	2	2	2	1
	矢 板	4	7	7	0	0	0	0	0	0	1	0
	馬 頭 小 川	3	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0
	高 根 沢	4	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0
第3 Aグループ	宇 都 宮	4	101	105	0	0	4	0	4	4	3	1
	宇 都 宮 西	4	64	65	0	0	1	0	1	1	0	1
	宇 都 宮 北	4	42	42	0	0	1	1	0	0	0	1
	宇 都 宮 90	4	40	44	0	0	5	1	4	4	7	2
	(宇都宮90結・衛星)	2023.10.6終結		0	0	0	0	4	-4	0	0	0
	宇 都 宮 陽 北	4	46	48	0	0	4	2	2	2	6	3
第3 Bグループ	宇 都 宮 東	4	105	105	0	0	1	1	0	0	0	3
	宇 都 宮 南	5	55	56	0	0	2	1	1	1	7	1
	宇 都 宮 陽 東	4	47	49	2	1	4	2	2	2	10	0
	宇 都 宮 陽 南	3	23	24	0	0	1	0	1	1	7	4
	宇 都 宮 さつき	4	26	26	0	0	0	0	0	0	4	2
第4グループ	真 岡	4	50	52	0	0	2	0	2	2	0	0
	益 子	4	29	31	0	0	2	0	2	2	2	0
	真 岡 西	5	38	38	0	0	0	0	0	0	5	0
	下 野 上 三 川	4	18	21	0	0	3	0	3	3	3	0
第5グループ	小 山	4	20	21	0	0	1	0	1	1	1	0
	小 山 南	5	15	15	0	0	0	0	0	0	2	0
	小 山 東	3	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 山 北	4	21	22	0	0	1	0	1	1	0	5
	小 山 中 央	3	24	24	0	0	0	0	0	0	2	0
第6グループ	栃 木	5	47	46	0	0	0	1	-1	0	5	0
	栃 木 西	4	32	33	0	0	1	0	1	1	1	0
	岩 舟	3	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	壬 生	3	15	17	1	0	2	0	2	2	1	0
	栃 木 南	4	38	40	0	0	2	0	2	2	11	1
第7グループ	日 光	3	21	21	0	0	0	0	0	0	4	0
	鹿 沼	5	61	62	1	0	2	1	1	1	2	4
	今 市	3	39	40	1	0	1	0	1	1	1	1
	鹿 沼 東	4	39	40	0	0	1	0	1	1	5	0
	鹿 沼 中 央	3	15	15	0	0	0	0	0	0	2	0
	今 市 きぬ	2	29	30	0	0	1	0	1	1	0	0
第8グループ	足 利	2	22	21	0	1	0	1	-1	0	1	0
	足 利 東	3	35	34	0	0	1	2	-1	0	2	0
	足 利 西	4	9	10	0	0	1	0	1	1	0	0
	足 利 わたらせ	3	32	31	0	0	0	1	-1	0	1	0
第9グループ	佐 野	3	54	53	0	1	1	2	-1	0	0	0
	葛 生	3	38	40	1	0	2	0	2	2	0	0
	田 沼	4	45	45	0	0	0	0	0	0	0	0
	佐 野 東	4	21	21	0	0	0	0	0	0	2	0
	48RC		1595	1625	6	3	50	20	30	109	31	

※宇都宮90結ロータリー衛星クラブ終結 2023年10月6日

